一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。
13人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

新しい翼

跡部 薫 議員

問 高齢者や障害者にやさしいまちづくりを目指し、バリアフリー化の推進、公共交通等の再編など奥山新市長はどのように取り組むのか。

答 地域ニーズをとらえたバス運行やバリアフリーの推進を図るなど、高齢者や障害を持つ皆様に配慮したまちづくりを進めてまいりたい。

「仙台市交通バリアフリー基本構想」に基づき整備された仙台駅西口エスカレーター

その他の主な質問項目
○成年後見制度と本市の市民後見人養成講座の現状
○米沢市など伊達政宗公ゆかりの都市との観光連携強化
○次期デスティネーションキャンペーン誘致への取り組み
○小学校の外国語活動について

加藤 和彦 議員

問 温泉利用の二十一世紀型高齢者住居施設導入や総合医療従事者の定住化による作並地域の振興策について伺う。

答 健康や医療の拠点整備を図る作並地域の有志によるプランに注目しながら、地域の皆様と意見交換を進め、地域の活性化につなげたい。

その他の主な質問項目
○市役所改革に関する市長の所信
○仙台市宮城西部地区におけるイノシシによる被害状況
○イノシシの習性を利用した効果的な防除方法と地域資源としての活用
○宮城県中央児童館の移管

鈴木 勇治 議員

問 行財政改革について、本庁組織の効率化や大区役所制の見直し等を検討すべき。

答 市民サービスを確保しながら、業務によって本庁への集約化を図るなど、より効率的な組織体制を検討したい。

問 公営企業への繰出金のあり方や道路占用料の取り扱いについて大胆に検討すべき。

答 繰出対象事業の精査、繰出金額の適正化を図るほか、ガス事業の道路占用料減免措置の見直しを検討したい。

その他の主な質問項目
○特養ホームの待機者解消
○新総合計画の策定方針
○東西線沿線のまちづくり

民主クラブ仙台

佐藤 わか子 議員

問 人事評価は給与へ反映し、やる気ある職員の育成を。

答 今後、さらなる給与への反映を早期に目指していく。

問 駅東第二土地区画整理事業の現状認識と今後のまちづくりの方向性を伺う。

答 魅力ある街の実現に向け、積極的に取り組んでいく。

その他の主な質問項目
○副市長は民間からも登用し明確な使命を与えるべき
○市民センターの役割明確化
○市民利用施設や博物館の月曜休館のあり方の見直し
○保育所入所申込の簡素化
○老朽化公共施設の改修計画は横断的一元管理にすべき

岡本 あき子 議員

問 市民企画型イベント等は、学生や若い方々の発想やボランティアで成り立っているが、学生のパワーを生かしたまちづくりの考え方を伺う。

答 学生の自主的な活動をサポートしながら、本市の様々な施策展開の中で学生が活躍できる場を提供していく。

若い世代の力をまちづくりに
～仙台クラシックフェスティバル～

その他の主な質問項目
○せんだい保育室等の保育料は認可施設より安く減額を
○高齢化が進む地域での日常生活の足としての交通施策
○新型インフルエンザ対策
○給食の牛乳代替飲料の提供
○秋保の田植踊の世界無形文化遺産登録を機に支援強化を

改革ネット・自民

大泉 鉄之助 議員

問 奥山新市長は職員の定数を八百人削減すると公言しているが、その決意を伺う。

答 行政が本来果たすべき責務を見極めた上で、行政運営のさらなる効率化を図り、市役所の改革に積極的に取り組む決意である。

問 市長が退職金を辞退するに至った経緯と考え方を伺う。

答 厳しい経済環境のもと、時代の変化に即応する大胆な改革を推進する決意を市民の皆様に示したいと考えた。

その他の主な質問項目
○エル・ソーラ仙台の縮小、移転による行財政改革の推進（歳出抑制策）について

所信表明する奥山新市長

公明党

小野寺 利裕 議員

問 本市においても、様々な認知症対策が、講じられているが、「認知症予防事業」への取り組みが、今求められていると思う。所見を伺う。

答 認知症は、要介護状態に陥る大きな原因として、予防が重要であり、今年度から「SKY（仙台介護予防）」作戦として認知症対策も含む介護予防に全力を挙げており、今後も取り組んでいく。

その他の主な質問項目
○災害時における、避難所の確保および要援護者支援
○地域における地域避難場所の確実な連携
○緊急時連絡カードの配布

鈴木 広康 議員

問 都市計画道路川内旗立線（いうう）ひより台工区（御堂平地区）の橋（きょう）梁工事の安全対策に万全を期せ。

答 カーブミラーの設置や登校時間帯を避けた車両の運行等十分な安全対策を講じる。

問 せんだい保育室に保育料減免の導入を。

答 国に対し、財政措置を講じるよう要望を続けていく。

その他の主な質問項目
○「三本の矢」を強固にする市長の具体的行動を
○フェンス整備にも利用可能なブロック塀撤去補助事業に進（歳出抑制策）について
○生活福祉資金貸付制度緩和
○食肉輸出可能な食肉市場に

嶋中 貴志 議員

問 仙台市と東北大学をはじめとする大学群が互いの成果を上げることを検討する機関の設置を求めるが、市長の考えを伺いたい。

答 「国際的にも存在感のある、個性あふれる仙台」を築くために、産学連携、まちづくりや市民活動などの大学と本市の多様な連携をさらに進めて、お互いの相乗効果が発揮できるような連携・協力のあり方を模索したい。

仙台市とのさらなる連携が期待される東北大学（写真提供：仙台市観光交流課）

その他の主な質疑項目
○下水道事業の課題と今後の事業展開について
○特別養護老人ホームの既存施設の増床について

日本共産党

高見 のり子 議員

問 バス路線の移譲で減便・運休された加茂・長命ヶ丘線の問題解決のため努力せよ。

答 事業者と地域住民の理解を深めるため、意見交換の場を設けるよう働きかけたい。

問 学都仙台フリーパスを高校生まで対象拡大すべき。

答 利用意向アンケート結果も見て、慎重に見定めたい。

問 きめ細かい運行ができる小型バス路線の拡大を。

答 需要量や収益性等総合的な検討が必要と考える。

その他の主な質問項目
○区役所への直通便の充実を
○市バスの委託は中止せよ
○坪沼乗合タクシーの支援を

花木 則彰 議員

問 学童保育に希望しても入れない子どもが二百五十名以上いる。待機児童解消は市長の公約である。実現の具体策を示すべき。

答 まず小学校区毎の児童館整備を着実に進め、また、児童クラブ室の規模等の工夫やサテライト室の設置等により待機児童の解消に努めたい。

問 土曜や長期休み中の朝と平日夕方の学童保育の時間延長は、働き続けるために必要。職員を増やして実現を。

答 全市的な時間延長は、現在の厳しい行財政環境の中一気には難しいが、着実な進展を責任を持って進めたい。

地域住民の足を守る乗合タクシー「つぼぬま号」

社民党

石川 建治 議員

問 仙台駅前のバスターミナル建設の将来構想を伺う。

答 民間開発との連携によるバスターミナルの整備の方策も含め、検討を進めたい。

問 アンパンマンこどもミュージアムと松島水族館の誘致予定地の決定理由を伺う。

答 共に民間事業者が決定したが、前者は開業時期や事業の採算性等を勘案し、後者は交通の利便性や集客面での相乗効果が見込まれること等から決定したと伺っている。

その他の主な質問項目
○総合交通戦略の策定
○学校給食での食物アレルギー対応食の充実

相沢 和紀 議員

問 地上デジタル放送に対応した大型TVが各学校に設置されるが、現場の声を聴きかつ省エネにも配慮すべき。

答 TV設置の趣旨と活用法等を周知徹底し、環境負荷の低減にも努めてまいりたい。

問 市営バス事業の安定した運営を求める。そのために、早期に職員新規採用の再開を。

答 提言の内容も含め、さまざまな対応を検討してまいりたい。

その他の主な質問項目
○市独自の学力テストの成果とこれまでの対応について
○学力テストは財政状況を考慮し中止を含めた見直しを

大型テレビを利用した南光台小学校（泉区）の授業風景

市制施行120th 政令指定都市移行20th 杜の都 仙台

常任委員会 審議の概要

平成21年9月18日開催

委員会に付託された議案番号を、各常任委員会名の下にまとめて記載しています。また、各議案名については、最終面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

総務財政委員会

政策調整局・総務局・財政局・消防局その他を所管
委員長 橋本 啓一　副委員長 小野寺 健
付託された議案番号（第101・105・106・112号）

〈付託議案審査〉
付託された四議案のうち、第百一号議案は賛成多数で、他の三議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

〈総務局からの報告〉
○仙台市外郭団体の経営状況の評価結果について
○仙台市外郭団体経営評価シートについて

問 外郭団体の数が四十に減ったとはいえ、実質外郭団体といえないものは、大胆に前向きに整理するべきでは。

答 可能かどうかも含め、勉強してまいりたい。

問 本来は市がやるべき仕事を、外郭団体や指定管理者に任せることの可否も含めて検討すべきでは。

答 社会状況の変化や市民の利便性の観点などから検討してまいりたい。

10月から民間に事業継承された仙台サンプラザ

〈財政局からの報告〉
○大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望等（指定都市）

市民教育委員会

企画市民局・教育委員会を所管
委員長 菊地 昭一　副委員長 加藤 和彦
付託された議案番号（第101・113・115号）

〈付託議案審査〉
付託された三議案のうち、第百一号議案は賛成多数で、その他二議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。

問 地下鉄仙台駅証明発行センターのアエルビルへの移転拡充について、周知方法に工夫や努力が必要だと思うが、いかがか。

答 市政だよりや本市ホームページでの広報のほか、ポスターやチラシ、案内表示などさまざまな媒体等を通じ、アエルビル内窓口についてPRに努めてまいりたい。

問 国の補正予算の執行停止の可能性があることについて、どのように考えるか。

答 地方に関わる内示済みの予算について、凍結の事態が生じないよう、他の自治体とも歩調を合わせ、国に強く働きかけていく。

地下鉄仙台駅証明発行センターの移転が予定されているアエルビル

健康福祉委員会

健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管
委員長 山口 津世子　副委員長 菅原 健
付託された議案番号（第101・103・104・108・117号）
※付託された請願番号（第3号）

〈付託議案審査〉
付託された五議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 新型インフルエンザに関する相談体制の充実、市民への適切な情報提供や広報の徹底が今以上に必要ではないか。

答 これまで市政だよりやホームページへの掲載、チラシの配布などを行ってきたが、今後もハイリスク者向けのチラシの配布や講演会の開催など、さまざまな手段で情報提供に努めていきたい。

問 補正予算に計上された女性特有のがん検診推進事業の周知方法について伺う。

答 検診対象者に検診手帳とクーポン券を郵送する際、事業内容を詳しく記載した文書を同封するほか、ホームページへの掲載やイベントを通じて広く市民に周知し、多くの方に受診していただきたい。

乳がん、子宮頸がんの検診手帳（右）とがん検診無料クーポン券

経済環境委員会

環境局・経済局・農業委員会を所管
委員長 佐藤 わか子　副委員長 跡部 薫
付託された議案番号（第101・107・109号）

〈付託議案審査〉
付託された三議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 いわゆる貸し渋りといったことがよく言われているが、融資総枠を増やすことよりも別な視点の対策が望まれているのではないか。

答 今後も資金需要が見込まれるため、融資枠確保が大切と考える。貸し渋りについては、年明け以降相談がほとんどなく、制度の周知が図られ円滑な融資が行われていると認識している。

問 緊急雇用創出事業は国の制度に沿って行われ、六カ月の雇用だが、本来であれば長期の雇用が求められていると思うがいかがか。

答 短期雇用も緊急避難的な意味では大切であるが、市民生活の安定を確保する上で、安定的な雇用機会の創出は優先されるべき課題と考える。

地元企業の経営相談に対応する中小企業支援センター

公営企業委員会

水道局・交通局・ガス局を所管
委員長 斎藤 範夫　副委員長 横田 匡人
付託された議案なし

〈水道局からの報告〉
○水道事業基本計画（中間案）について

問 水道事業への税負担を求め、料金の低減や必要な設備更新に充てることによって市民に安全・安心な水道水を供給することで、市民局の使命と考えるが、いかがか。

答 公営企業は、独立採算が基本であると考えている。

問 大量退職時代に備え、民間への移転や移管を含む技術の継承にどう取り組むのか。

答 市水道局も民間事業者も効率的な運用を継承できるよう、定年延長やベテラン人材の再活用も含めた技術力全体の継承・移転の体制を組み、かつ関連事業者とも共存できる体制作りに取り組んでいく。

〈その他の質問事項〉
○東西線建設事業費の推移
市民への公表
○ガス局の道路占用料の支出

安全・安心な水の供給が求められる水道局（写真は茂庭浄水場）

都市整備建設委員会

都市整備局・建設局を所管
委員長 庄司 俊充　副委員長 嶋中 貴志
付託された議案番号（第101・102・110・111・114・116・118号）

〈付託議案審査〉
付託された七議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 就学前の子供がいる世帯の市営住宅入居について、優先選考の具体的内容を伺う。

答 当選確率が高まるよう抽選玉を一般世帯が一個のところをさらに二個増やし、新たに別枠での募集も実施する。

〈青葉区からの報告事項〉
定禅寺通のケヤキの倒木及び緊急調査について

〈泉区からの報告事項〉
泉区高森地区における道路及び住宅地の陥没事故について

問 陥没事故近辺に住居を持つ住民が不安を抱いているが、今後の原因究明と対策をどのように進めるのか伺う。

答 事故調査委員会を設けて原因究明と対策、地域の方々への説明を並行して行ってまいりたい。

青葉区愛子中央に整備された上原市営住宅7号棟

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

●学校ICT環境整備（注1）（二面一段）
文部科学省による学校施設改善事業の一つで、事業名は情報通信技術（Information and Communications Technology）に由来。主な事業内容は、学校へのデジタルテレビや電子黒板などの整備。

●肺炎球菌ワクチン（注2）（三面二段）
肺炎球菌による肺炎を防ぐためのワクチン。肺炎球菌は、成人肺炎の原因の多くを占め、特に高齢者がインフルエンザに感染した場合、肺炎を併発し重症化しやすいことから、ワクチン接種は、高齢者の肺炎予防に有効とされている。

●秋保の田植踊（注3）（四面二段）
年の初めに稲の豊作をあらかじめ祝うことで、豊作を願う芸能で、もとは小正月に行われていたもの。現在は、馬場、長袋、湯元の各地区で継承され、主として社寺の祭礼時に踊られている。「秋保の田植踊」は三地区の田植踊の総称。

●医師ピックアップ方式（注4）（六面五段）
救急車に医師が同乗して出動する「ドクターカー」の運用方式の一つで、救急患者を搬送する救急車に加えて、別の救急車が病院へ急行し、医師を同乗（ピックアップ）させ、救急現場へ出動させる方式のこと。

●消防活動強化区域（注5）（六面六段）
消防用水の確保や道路幅員の条件から、消防活動に支障を生じる恐れがあると定められた区域のことで、市の警防計画（消防活動が的確かつ効果的に行われるよう策定される計画）により重点的に対処すべき区域と指定されている。